



JAPANESE URUSHI

日本の〈漆〉展-V 美と品格、日本の〈漆〉「輪島、そして…」

2026.1.4_{sun} - 3.1_{sun}

【開館日】水・木・土・日曜日 11:00~16:00(入館は15:30まで) 【休館日】月・火・金曜日

【会場】緑ヶ丘美術館・本館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10 **入場無料**

【URL】<http://mam-museum.com> <お問い合わせはFAXで:FAX 0743-85-7880>



MAM
Midorigaoka Art Museum
緑ヶ丘美術館

J A P A N - V U R U S H I

2026 Japanese Lacquer Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan



蒔絵夕照箱 / 片山雅博 作



螺鈿箱「夏を待つ」 / 小西寧子 作



乾漆銀平文天牛箱 / しんたにひとみ 作



沈金漆篋「秋桜」 / 鶴田悦子 作



螺鈿秋麗箱 / 若林雅子 作



梅 / 山崎覚太郎 作



作品名不詳 / 高橋節郎 作



木彫渡蟹額 / 音丸耕堂 作



作品名不詳 / 角偉三郎 作

技を尽くした珠玉の輝き
日本の歴史風土が育んだ美の世界

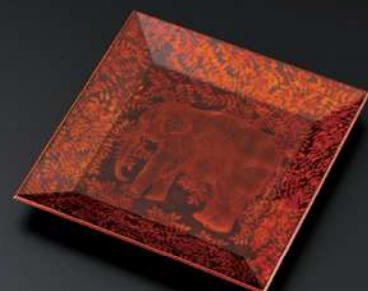
緑ヶ丘美術館所蔵の漆芸作品コレクションによる「日本のへ漆へ展」。五回目となる今回は、輪島や金沢、そして奈良を中心とする各地の漆芸家の手による美と品格を兼ね備えた器、飾皿、額などを展示します。二〇二四年、輪島のある能登半島は大きな災害に見舞われました。しかし長い年月をかけて磨かれた技術と美意識の結晶とも言えるこれらの作品には、逆境を跳ね返し得る力があります。漆工芸の限らない可能性と極められた美の形を、日本の漆芸発祥の地・奈良にてぜひ、ご覧ください。



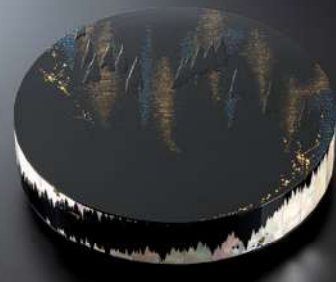
水文盛器 / 浦出勝彦 作



沈金草花銘々皿 / 西勝廣 作



沈金四方盆「森の路」 / 鳥毛清 作



金胎螺鈿蒔絵漆箱「山河」 / 岸本圭司 作

